中期目標の達成状況に関する評価結果

（４年目終了時評価）

奈良教育大学

令和３年６月

大学改革支援・学位授与機構

目　　次

法人の特徴　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

（法人の達成状況報告書から転載）

評価結果

≪概要≫　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

≪本文≫　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

≪判定結果一覧表≫　・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

法人の特徴

大学の基本的な目標（中期目標前文）

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命とする。

第３期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たしていく。さらに、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与する。

奈良教育大学は、上記の基本的目標を踏まえ、特に以下を重点的に取り組んでいる。

１　持続可能な社会の創造に寄与しうる教育を推進するため、実践的指導力、自ら課題を発見し協働的に探究できる能力及びグローバルな視野を備え新たな学びに対応できる能力を身に付け、その向上を目指して常に学び続ける教員を養成する。

２　研究の成果に基づいた教育及び実践的活動を推進するため、教育の基盤となる知の創出と教育的課題への対応を主軸とした研究ならびに奈良の地に根差した個性ある学際的教育研究をいっそう深化・発展させる。

３　教員研修ならびに地域の教育課題に対応するため、教育委員会や義務教育諸学校等との協働の取組を拡充し、地域の教育に対する支援を強化する。

［★　個性の伸長に向けた取組］

○　大学教員研修システムの構築と実施（関連する中期計画　１－２－６－３）

○　ESD（持続可能な開発のための教育）を核とした教員養成・研修の高度化
（関連する中期計画　２－１－１１－２）

○　理数教育再創生のための教員養成及び研修機能の拡充
（関連する中期計画　２－１－１１－２）

○　学校教育体系全体を視野に入れたインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮・ユニバーサルデザイン教育の開発（関連する中期計画　２－１－１１－２）

○　地域融合型教育システム（地域の教育課題に組織的・協働的に取組む）の構築
（関連する中期計画　３－１－１３－１）

［◆　戦略性が高く意欲的な目標・計画］

○　教育委員会、学校、地域と連携・協働して奈良県における学校教育の指導的役割を担う教員の養成の中心的役割を果たし、現職教員研修等を協働して実施するため、実践型教員養成機能の強化、教員養成の高度化、ならびに教育組織の再編などを進め、教育分野を中心に地域と融合する大学を目指す。
（関連する中期計画１－２－６－１、１－４－９－２）

評価結果

≪概要≫

第３期中期目標期間の教育研究の状況（４年目終了時）について、法人の特徴等を踏まえ評価を行った結果、奈良教育大学の中期目標（大項目、中項目及び小項目）の達成状況の概要は、以下のとおりである。

＜判定結果の概要＞

中期目標（大項目）	中期目標（中項目）	判定	中期目標（小項目）判定の分布 【５】特筆すべき実績を上げている	【４】優れた実績を上げている	【３】進捗している	【２】十分に進捗しているとはいえない	【１】進捗していない
Ⅰ　教育に関する目標		【３】順調に進んでいる					
	１　教育内容及び教育の成果等に関する目標	【３】順調に進んでいる			5		
	２　教育の実施体制等に関する目標	【４】計画以上の進捗状況にある		1			
	３　学生への支援に関する目標	【２】おおむね順調に進んでいる			1	1	
	４　入学者選抜に関する目標	【３】順調に進んでいる			2		
Ⅱ　研究に関する目標		【３】順調に進んでいる					
	１　研究水準及び研究の成果等に関する目標	【３】順調に進んでいる			1		
	２　研究実施体制等に関する目標	【３】順調に進んでいる			1		
Ⅲ　社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標		【４】計画以上の進捗状況にある					
		なし		1			
Ⅳ　その他の目標		【３】順調に進んでいる					
	１　グローバル化に関する目標	【３】順調に進んでいる			1		

※　大項目「Ⅰ　教育に関する目標」及び「Ⅱ　研究に関する目標」においては、学部・研究科等の現況分析結果による加算・減算を反映している。

≪本文≫

Ⅰ　教育に関する目標（大項目１）

１．　評価結果及び判断理由

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「教育に関する目標」に係る中期目標（中項目）４項目のうち、１項目が「計画以上の進捗状況にある」、２項目が「順調に進んでいる」、１項目が「おおむね順調に進んでいる」であり、これらの結果に学部・研究科等の現況分析結果（教育）を加算・減算して総合的に判断した。

２．　中期目標の達成状況

（１）　教育内容及び教育の成果等に関する目標（中項目 1-1）

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「教育内容及び教育の成果等に関する目標」に係る中期目標（小項目）５項目のうち、５項目が「進捗している」であり、これらを総合的に判断した。

小項目 1-1-1	判定		判断理由
〔学士課程〕実践的指導力の育成のため、基礎的・基本的な知識と技能を踏まえた体系的な教育課程を編成・実施するとともに、課題探究型学習等を含む教育方法を充実させる。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	該当なし		

<table>
<tr><th>小項目 1-1-2</th><th colspan="2">判定</th><th>判断理由</th></tr>
<tr><td rowspan="3">学士（教育学）として必要な資質能力が身に付いたことを確認し、学士課程の質を保証する。</td><td>【３】</td><td>中期目標の達成に向けて進捗している</td><td>○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">≪特記事項≫</td></tr>
<tr><td colspan="3">該当なし</td></tr>
<tr><th>小項目 1-1-3</th><th colspan="2">判定</th><th>判断理由</th></tr>
<tr><td rowspan="3">〔大学院課程〕専門職学位課程では、多様な学習者のニーズを踏まえつつ、奈良県教育委員会等との連携・協働により、学部卒業生を対象とした新人教員の養成、現職教員を対象にしたスクールリーダーの養成のため、確かな指導的理論を形成し、優れた実践力・展開力・応用力を育成する教育課程を編成し実施する。</td><td>【３】</td><td>中期目標の達成に向けて進捗している</td><td>○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">≪特記事項≫</td></tr>
<tr><td colspan="3">該当なし</td></tr>
<tr><th>小項目 1-1-4</th><th colspan="2">判定</th><th>判断理由</th></tr>
<tr><td rowspan="3">修士課程では、専門領域に関する研究をもとに、教育関係諸科学の理論と実践を往還し、多様化する学校教育の現代的な課題にも対応できる実践的指導力を育成し、教科等の知識・技能を深める教育課程を編成し実施する。</td><td>【３】</td><td>中期目標の達成に向けて進捗している</td><td>○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">≪特記事項≫</td></tr>
<tr><td colspan="3">該当なし</td></tr>
</table>

小項目 1-1-5	判定		判断理由
教職修士（専門職）及び修士（教育学）として必要な資質能力が身に付いたことを確認し、大学院課程の質を保証する。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	該当なし		

（２）　教育の実施体制等に関する目標（中項目 1-2）

【評価結果】中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある

（判断理由）「教育の実施体制等に関する目標」に係る中期目標（小項目）が１項目であり、当該小項目が「優れた実績を上げている」であることから、これらを総合的に判断した。

小項目 1-2-6	判定		判断理由
教育の実施体制の充実と教育環境の整備を図り、実践型教員養成・研修機能を強化する。	【４】	中期目標の達成に向けて進捗し、優れた実績を上げている	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。 ○　また、特記事項を判断要素とし、総合的に判断した結果、「新型コロナウイルス感染症下の教育」が優れた点として認められるなど「優れた実績」が認められる。
	≪特記事項≫		
	（優れた点） ○　新型コロナウイルス感染症下の教育 京阪奈三教育大学連携推進事業の取組のうち、奈良教育大学が中心となって作成した ICT 活用指導力向上のための養成・研修テキスト及び学校インターンシップに関するビデオコンテンツを、京阪奈３教育大学で共有するととも		

	に、ウェブサイトで公開するなど、全国に提供している。また、新型コロナウイルス感染症の状況下において、京阪奈三教育大学連携推進事業における実績がオンライン授業の早期の取組に活かされている。（中期計画 1-2-6-4） （特色ある点） ○　教員養成教育力を高める研修 　学校現場で指導経験のない教員のみならず、全大学専任教員を対象とする教員養成教育に関する資質・能力を高めるための研修プログラム「奈良教育大学教員のための研修プログラム」を開発し、平成 30 年度から実施している。また、その受講率は平成 30 年度、令和元年度とも 100%となっている。併せて、このプログラムについての自己評価結果をウェブ上で報告するシステムも構築している。（中期計画 1-2-6-3） ○　地域融合型教育システムの進展 　奈良県教育委員会との連携協力に関する協議会の下、平成 28 年度に「教員研修部会」と「へき地教育部会」を設置し、複式学級や小規模学級指導について、へき地教育を課題とする学校を有する市町村との連携により、地域融合型教育システムの構築を進めている。（中期計画 1-2-6-5）

（３）　学生への支援に関する目標（中項目 1-3）

【評価結果】中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる

（判断理由）「学生への支援に関する目標」に係る中期目標（小項目）２項目のうち、１項目が「進捗している」、１項目が「十分に進捗しているとはいえない」であり、これらを総合的に判断した。

小項目 1-3-7	判定		判断理由
学生の主体的な学習を支援するとともに、多様なニーズに適合した学修支援を進める。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	該当なし		

小項目 1-3-8	判定		判断理由
教員就職に向けて、全学的な就職支援を充実させる。	【２】	中期目標の達成に向けて十分に進捗しているとはいえない	○　中期計画の判定において「中期計画を十分に実施しているとはいえない」がある。 ○　また、「教員就職率・県内小学校教員占有率の状況」に改善を要する点が指摘されたため、小項目の達成が十分に見込まれない。
	≪特記事項≫		
	（改善を要する点） ○　教員就職率・県内小学校教員占有率の状況 修士課程修了者の教員就職率について、平成 28 年度から令和元年度にかけて 57.1%から 68.2%となっており、数値目標 75%を達成していない。また、奈良県内小学校教員の占有率についても、平成 28 年度から令和元年度にかけて 21.2%から 27.5%となっており、数値目標 30%を達成していないため、就職率、占有率の向上策についてさらに工夫する必要がある。（中期計画 1-3-8-1）		

（４）　入学者選抜に関する目標（中項目 1-4）

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「入学者選抜に関する目標」に係る中期目標（小項目）２項目のうち、２項目が「進捗している」であり、これらを総合的に判断した。

小項目 1-4-9	判定		判断理由
〔学士課程〕本学学部で教育を受けるために必要な学力を有し、教職への強い意欲を持った者を受け入れる。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	（特色ある点） ○　奈良県次世代教員養成塾の実施 奈良教育大学と奈良県教育委員会により、奈良県下で教職に就く強い意欲を持った高校生を育成する次世代教員養成プログラムを立案している。平成 30 年度より「奈良県次世代教員養成塾」として県下の国私立６大学が協力して実施し、奈良教育大学においても高大接続の一環として位置付けている。（中期計画 1-4-9-2）		

小項目 1-4-10	判定		判断理由
〔大学院課程〕本学大学院で教育を受けるために必要な学力を有し、高度専門職業人としての教員及びスクールリーダーを目指す者を受け入れる。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	該当なし		

Ⅱ　研究に関する目標（大項目２）

１．　評価結果及び判断理由

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「研究に関する目標」に係る中期目標（中項目）２項目のうち、２項目が「順調に進んでいる」であり、これらの結果に学部・研究科等の現況分析結果（研究）を加算・減算して総合的に判断した。

２．　中期目標の達成状況

（１）　研究水準及び研究の成果等に関する目標（中項目 2-1）

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「研究水準及び研究の成果等に関する目標」に係る中期目標（小項目）が１項目であり、当該小項目が「進捗している」であることから、これらを総合的に判断した。

小項目 2-1-11	判定		判断理由
教育の基盤となる知そのものの創出と教育的課題への対応を主軸とした研究を行い、教員養成大学として教育の発展に寄与する。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	（特色ある点） ○　多様な教育研究活動の展開 奈良の自然や文化、世界遺産等を通じた持続可能な開発のための教育（ESD）研究や、理数教育に関する奈良県下のへき地教育支援や高大接続、理数指導力高度化の推進、児童生徒・保護者・教員のニーズに応じた特別支援教育研究を総合的に推進している。また、ESD 及び理数教育に関するプロジェクトについて平成 30 年度に基幹経費化を行っている。（中期計画 2-1-11-2）		

（２）　研究実施体制等に関する目標（中項目 2-2）

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「研究実施体制等に関する目標」に係る中期目標（小項目）が１項目であり、当該小項目が「進捗している」であることから、これらを総合的に判断した。

小項目 2-2-12	判定		判断理由
教員養成大学としての研究の質の向上と活性化のため、研究実施体制等を充実させる。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	該当なし		

Ⅲ　社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育･研究に関する目標（大項目３）

１．　評価結果及び判断理由

【評価結果】中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある

（判断理由）「社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標」に係る中期目標（小項目）が１項目であり、当該小項目が「優れた実績を上げている」であることから、これらを総合的に判断した。

２．　中期目標の達成状況

<table>
<tr><th>小項目 3-1-13</th><th colspan="2">判定</th><th>判断理由</th></tr>
<tr><td rowspan="3">教育委員会や義務教育諸学校等と協力しながら、様々な分野の教員を擁する教育大学の特色を生かした地域への貢献を図る。</td><td>【４】</td><td>中期目標の達成に向けて進捗し、優れた実績を上げている</td><td>○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
○　また、特記事項を判断要素とし、総合的に判断した結果、「高大連携の推進」が優れた点として認められるなど「優れた実績」が認められる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">≪特記事項≫</td></tr>
<tr><td colspan="3">（優れた点）
○　高大連携の推進
県内高校の教育コースの支援や、県内高校との協力事業、奈良県教育委員会が実施する次世代教員養成塾への参画等、高大連携を進めている。また、奈良県次世代教員養成塾への参画は文部科学省の平成 30 年度グッドプラクティスに採用されている。（中期計画 3-1-13-2）
（特色ある点）
○　地域への多彩な支援
スクールサポーター研修・認証制度や子どもパートナー養成・認証制度により、サポーターの質を高めつつ、登録派遣を実施している。また、理数教育推進に関わる大和郡山・曽爾サテライト事業等、教育活動の支援が進んでいる。さらに、不登校等の課題を抱える児童生徒や、発達障</td></tr>
</table>

	害のある子どもの支援も行うなど、教育大学としての特色を活かし、地域への多彩な支援を実施している。（中期計画 3-1-13-3）

Ⅳ　その他の目標（大項目４）

１．　評価結果及び判断理由

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「その他の目標」に係る中期目標（中項目）が１項目であり、当該中項目が「順調に進んでいる」であることから、これらを総合的に判断した。

２．　中期目標の達成状況

（１）　グローバル化に関する目標（中項目 4-1）

【評価結果】中期目標の達成に向けて順調に進んでいる

（判断理由）「グローバル化に関する目標」に係る中期目標（小項目）が１項目であり、当該小項目が「進捗している」であることから、これらを総合的に判断した。

小項目 4-1-14	判定		判断理由
海外の協定大学等との間での留学生の派遣や受け入れ及び教育研究等を通じて、グローバルな視野を備えた教員を養成する。	【３】	中期目標の達成に向けて進捗している	○　中期計画の判定がすべて「中期計画を実施している」以上であり、かつ中期計画の実施により、小項目の達成が見込まれる。
	≪特記事項≫		
	該当なし		

奈良教育大学

≪判定結果一覧表≫

中期目標（大項目） 中期目標（中項目） 中期目標（小項目） 中期計画	判定		下位の中期目標・中期計画における各判定の平均値
大項目1 **教育に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.12 うち現況分析結果加算点 0.00
中項目1-1 **教育内容及び教育の成果等に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00
小項目1-1-1 〔学士課程〕実践的指導力の育成のため、基礎的・基本的な知識と技能を踏まえた体系的な教育課程を編成・実施するとともに、課題探究型学習等を含む教育方法を充実させる。	【3】	進捗している	2.33
中期計画1-1-1-1 実践的指導力の育成のため、第2期中期目標期間において整備した教職系列・実践系列・教科系列から構成される教育課程を学生の自己評価、卒業生調査などの評価指標を踏まえて改善する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-1-1-2 課題探究型学習ならびに学生の主体的な学習の促進のため、その基礎となる教養教育の充実、アクティブ・ラーニングの展開、ならびに情報収集・活用・提示に資するICT（情報通信技術）活用能力の向上に取り組む。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画1-1-1-3 自ら学び続ける姿勢の形成、教職への円滑な移行を促すため、キャリア教育を充実させる。とりわけ学生の実践的指導力の育成のため、地域教育委員会と協働したスクールサポートシステムを整備・拡充する。	【2】	中期計画を実施している	
小項目1-1-2 学士（教育学）として必要な資質能力が身に付いたことを確認し、学士課程の質を保証する。	【3】	進捗している	2.00
中期計画1-1-2-1 学士（教育学）として身につける資質能力基準を踏まえ、第2期中期目標期間に作成した成績評価基準とそのガイドラインに基づく成績評価を実施する。また、評価の適切性を平成32年度を目途に検証し、ガイドラインを見直す。	【2】	中期計画を実施している	
小項目1-1-3 〔大学院課程〕専門職学位課程では、多様な学習者のニーズを踏まえつつ、奈良県教育委員会等との連携・協働により、学部卒業生を対象とした新人教員の養成、現職教員を対象にしたスクールリーダーの養成のため、確かな指導的理論を形成し、優れた実践力・展開力・応用力を育成する教育課程を編成し実施する。	【3】	進捗している	2.00
中期計画1-1-3-1 大学院における学修と現職教員研修機能を踏まえ、「学校づくり」の視点に立ち、「養成する人材像」を基に履修コースの点検・整備・拡充を含む教育課程編成を行う。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-1-3-2 新たな教育課題に対応できる実践的指導力を更に強化するため、平成28年度実施の「実習科目」について、実習の場、期間、学びの成果を中心に点検し、平成32年度を目途に改善する。	【2】	中期計画を実施している	
小項目1-1-4 修士課程では、専門領域に関する研究をもとに、教育関係諸科学の理論と実践を往還し、多様化する学校教育の現代的な課題にも対応できる実践的指導力を育成し、教科等の知識・技能を深める教育課程を編成し実施する。	【3】	進捗している	2.00
中期計画1-1-4-1 多様化する学校教育の新たな教育課題にも対応できる実践的指導力の強化・充実のため、平成28年度実施の「実践的科目」ならびに「教育課題探究科目」の内容と編成を点検し、平成32年度を目途に教育課程を改善する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-1-4-2 地域社会の要請に応える高度な研究力・探究力を有する教員の養成のため、教科の教材開発研究領域、ならびに奈良の特色を生かした「持続可能な開発のための教育」などの教科横断的な教育研究領域などの充実に向けた教育課程の整備を行う。	【2】	中期計画を実施している	

中期目標（大項目） 中期目標（中項目） 中期目標（小項目） 中期計画	判定		下位の中期目標・中期計画における各判定の平均値
小項目1-1-5 教職修士（専門職）及び修士（教育学）として必要な資質能力が身に付いたことを確認し、大学院課程の質を保証する。	【3】	進捗している	2.00
中期計画1-1-5-1 教職修士（専門職）及び修士（教育学）として身につける資質能力基準を踏まえ、成績評価基準とそのガイドラインに基づく成績評価を実施する。また、評価の適切性を平成32年度を目途に検証し、ガイドラインを見直す。	【2】	中期計画を実施している	
中項目1-2 **教育の実施体制等に関する目標**	**【4】**	計画以上の進捗状況にある	4.00
小項目1-2-6 教育の実施体制の充実と教育環境の整備を図り、実践型教員養成・研修機能を強化する。	【4】	優れた実績を上げている	2.60
中期計画1-2-6-1（◆） 大学院教育学研究科における実践型教員養成・研修機能をさらに強化するため、平成28年度の大学院改組を踏まえ、平成32年度を目途に専門職学位課程への重点化と修士課程の特色化を図る。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-2-6-2 学生が身につけた資質能力について教員や学生自らが確認できるようにするため、教学システム等を活用した学習成果の可視化環境を整備する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-2-6-3（★） 実践型教員養成・研修機能を高めるため、附属学校部の下に教育研究連携部会を設置するなど、体制整備を行い、学校現場で指導経験のない大学教員が附属学校等の現場において授業観察、共同研究などの経験を重ねる組織的な取組を行う。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画1-2-6-4 京阪奈三教育大学の連携により教員養成研修の高度化と質保証、新たな学びに対応できる次世代教員養成及び研修の課題に協働して取り組み、三教育大学連携の拠点の一つである次世代教員養成センターにおいて、各大学の連携拠点が開発したプログラム等を点検実施し、その成果に基づき教員養成の機能強化を進める。特に三教育大学共同により具体的に取り組む課題を重点的に位置づけ、双方向遠隔授業等を活用した教育課程の連携を進め、全国的に活用可能なプログラムを開発提供する。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画1-2-6-5 ICT活用、へき地教育等の課題について教員養成課程を有する奈良県内外の大学等との連携を進める。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中項目1-3 **学生への支援に関する目標**	**【2】**	おおむね順調に進んでいる	2.50
小項目1-3-7 学生の主体的な学習を支援するとともに、多様なニーズに適合した学修支援を進める。	【3】	進捗している	2.25
中期計画1-3-7-1 アクティブ・ラーニングの展開などにより、学生の主体的な学習を促進するため、ラーニングコモンズ等を公開授業、公開講座、学生の学びあいの場などとして活用する。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画1-3-7-2 学生の情報活用能力の向上及び課題探究力の育成を図るため、ICT設備等を利用した学びを支援するとともに、実際の学校現場でICTを活用した教育や児童・生徒指導を行うニーズに対応したプログラムを展開する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-3-7-3 学生が主体的に学修活動が行える機会を広く提供するため、京阪奈三教育大学の連携により学生主体の合同セミナー等を継続的に開催する。合同セミナーは、対面セミナーだけでなく、TV会議システムも活用し、学生自身が主体的に企画運営できるよう支援する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-3-7-4 学生に対する経済的支援として、通常の授業料免除可能額に大学独自の財源を配分して授業料免除を実施するとともに、海外の協定大学への派遣留学に際して大学独自の財源で支援を実施する。	【2】	中期計画を実施している	

中期目標（大項目） 中期目標（中項目） 中期目標（小項目） 中期計画	判定		下位の中期目標・中期計画における各判定の平均値
小項目1-3-8 教員就職に向けて、全学的な就職支援を充実させる。	【2】	十分に進捗しているとはいえない	1.50
中期計画1-3-8-1 学部卒業生は70%、教職大学院修了者は90%、修士課程修了者は75%の教員就職率と、奈良県内小学校教員の占有率30%を確保するため、入学から卒業修了にわたる学生への継続的な進路指導により教職への意識を高める。また、教育課程における学びに加え、教員採用試験に向けた支援として、模擬授業、模擬集団面接、模擬集団討論及び模擬試験など各種支援プログラムを実施する。	【1】	中期計画を十分に実施しているとは言えない	
中期計画1-3-8-2 卒業生・修了者については、奈良県講師就職者の次年度受験や正規採用に向けた支援を強化するとともに、奈良県を中心とする新規採用者の勤務状況等の情報を各種支援プログラムの改善に活用する。	【2】	中期計画を実施している	
中項目1-4 **入学者選抜に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00
小項目1-4-9 〔学士課程〕本学学部で教育を受けるために必要な学力を有し、教職への強い意欲を持った者を受け入れる。	【3】	進捗している	2.50
中期計画1-4-9-1 入学者の入試成績、入学後の学業成績等の分析に基づき、教職への意欲関心、教職に必要な学力能力を多面的総合的に評価できる選抜方法に向けた改善を行う。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-4-9-2（◆） 奈良県教育委員会との協議を継続的に行うとともに、高大接続の一環として地域の高校との連携関係に基づいた学部の選抜方法を検討改善し、地域の教育に貢献する人材を育成する。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
小項目1-4-10 〔大学院課程〕本学大学院で教育を受けるために必要な学力を有し、高度専門職業人としての教員及びスクールリーダーを目指す者を受け入れる。	【3】	進捗している	2.00
中期計画1-4-10-1 平成31年度を目途に、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを改善し、それに基づく選抜方法を立案し実施する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画1-4-10-2 「教員養成の高度化に関する連携協定」等を踏まえ、地域の大学との連携関係に基づいた大学院の選抜方法を改善する。	【2】	中期計画を実施している	
大項目2 **研究に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00 うち現況分析結果加算点 0.00
中項目2-1 **研究水準及び研究の成果等に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00
小項目2-1-11 教育の基盤となる知そのものの創出と教育的課題への対応を主軸とした研究を行い、教員養成大学として教育の発展に寄与する。	【3】	進捗している	2.50
中期計画2-1-11-1 教員養成大学として教育の発展に寄与するため、教育科学、教科教育学、教科内容学及び教科を構成する諸学問の研究分野で、教育の基盤となる質の高い研究を実施し、得られた成果を教員養成、教員研修に還元する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画2-1-11-2（★） 豊かな自然や地域文化、多数の世界遺産等を通じた「持続可能な開発のための教育」に関する研究、理数教育ならびに特別支援教育に関する研究など、奈良の地に根差した個性ある学際的研究とそれに基づく教育方法及び教材開発を推進し、得られた成果を教員養成、教員研修に還元する。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	

中期目標（大項目） 中期目標（中項目） 中期目標（小項目） 中期計画	判定		下位の中期目標・中期計画における各判定の平均値
中項目2-2 **研究実施体制等に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00
小項目2-2-12 教員養成大学としての研究の質の向上と活性化のため、研究実施体制等を充実させる。	【3】	進捗している	2.00
中期計画2-2-12-1 学長のリーダーシップに基づき、研究成果が教員養成や地域の教育改善に寄与する取組やプロジェクトに研究資源を重点的に配分する等、研究実施体制と研究環境を整備する。	【2】	中期計画を実施している	
大項目3 **社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標**	【4】	計画以上の進捗状況にある	4.00
	なし	－	—
小項目3-1-13 教育委員会や義務教育諸学校等と協力しながら、様々な分野の教員を擁する教育大学の特色を生かした地域への貢献を図る。	【4】	優れた実績を上げている	2.75
中期計画3-1-13-1（★） 教育委員会と連携し、現職教員の研修等について大学が組織的に寄与する。とりわけ、奈良県教育委員会との連携により設置している専門部会（英語教育、ICT活用、高大接続）の取組を拡充することにより、教員養成大学として新たな教育課題に率先して取り組む。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画3-1-13-2 本学の特色や教育研究の成果を生かして、社会や受講生のニーズを反映したテーマ内容とした教員免許状更新講習や公開講座及び高大連携を含む連携事業等を実施する。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画3-1-13-3 教育委員会等と連携し、スクールサポートなど学生による教育支援活動を充実させ、地域の公立学校等の教育活動の円滑な実施を支援する。	【3】	中期計画を実施し、優れた実績を上げている	
中期計画3-1-13-4 人材育成と地域において子どもが健やかに育成される環境の整備に寄与するため、近隣大学・短期大学ならびに教育委員会と連携協力して、保育士資格取得のための特例科目を平成31年度まで開講する。	【2】	中期計画を実施している	
大項目4 **その他の目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00
中項目4-1 **グローバル化に関する目標**	【3】	順調に進んでいる	3.00
小項目4-1-14 海外の協定大学等との間での留学生の派遣や受け入れ及び教育研究等を通じて、グローバルな視野を備えた教員を養成する。	【3】	進捗している	2.00
中期計画4-1-14-1 社会のグローバル化に対応できる教員の養成に資するため、海外の協定大学等や、東アジアを始めとする高等教育機関と連携し、研究者・大学院生の交流や共同研究事業等を実施する。	【2】	中期計画を実施している	
中期計画4-1-14-2 グローバルな視野を備えた教員を養成するため、海外の協定大学へ学生を派遣するとともに、留学生を受け入れ、本学学生と留学生の交流を活発化させる等、留学支援への取組を充実させる。	【2】	中期計画を実施している	

※ 中期計画に表示されている記号が示す内容は、それぞれ以下のとおり。
（★）:「個性の伸長に向けた取組」に特に関連する中期計画（「法人の特徴」参照）
（◆）:文部科学省国立大学法人評価委員会に承認された「戦略的かつ意欲的な目標・計画」
（＊）:新型コロナウイルス感染症による影響を特に考慮して分析・判定した中期計画

※ 「下位の中期目標・中期計画における各判定の平均値」のうち、大項目「教育」「研究」の数値については、
中項目の判定に使用した数値をそのまま大項目ごとに平均して算出し、その上で学部・研究科等の現況分析結果による加算・減算を行っている。

【教育】 達成状況評価　　現況分析:「教育」

$$\left(\begin{array}{l}\text{当該法人における}\\\text{大項目「教育に関する目標」}\\\text{の中項目の平均値}\end{array}\right) + \left\{\left(\begin{array}{l}\text{当該法人における}\\\text{（Ⅰ 教育活動の状況）、}\\\text{（Ⅱ 教育成果の状況）}\\\text{の全判定結果の平均値}\end{array}\right) - 2^{\text{注1}}\right\} \times \text{係数 } 0.5^{\text{注2}}$$

【研究】 達成状況評価　　現況分析:「研究」

$$\left(\begin{array}{l}\text{当該法人における}\\\text{大項目「研究に関する目標」}\\\text{の中項目の平均値}\end{array}\right) + \left\{\left(\begin{array}{l}\text{当該法人における}\\\text{（Ⅰ 研究活動の状況）、}\\\text{（Ⅱ 研究成果の状況）}\\\text{の全判定結果の平均値}\end{array}\right) - 2^{\text{注1}}\right\} \times \text{係数 } 0.5^{\text{注2}}$$

注1 現況分析は4段階判定となっており、【2】判定（相応の質にある）が基準となる判定のため、現況分析の教育または研究の全判定結果の平均値が2を上回る場合は加算、下回る場合は減算となる。
注2 現況分析結果の加算・減算に当たっては、達成状況の評価結果であることを考慮し、係数「0.5」を設定する。
なお、加算・減算後の数値は小数点第3位を切り捨て処理しているため、現況分析結果加算点と教育または研究に関する大項目における判定の平均値の合算値が一致しないことがある。